

# 平成24年度 中区の市民と専門職による「在宅医療・介護」意見交換会

【主催】・中区地域保健医療福祉連携懇話会 ・岡山市

日 時： 平成24年3月9日(土) 13:30~16:30

場 所： 山陽学園大学 本館301 (分科会302,403,404,405)

参加者数： 135人

...専門職67人46施設(診療所、病院、薬剤師会、薬局、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、デイサービス、栄養士会、地域包括支援センター、介護予防センター、保健センター、保健所、大学、NPO、行政 など)

...市民68人11地区(連合町内会、地区民生委員・児童委員協議会、愛育委員会、社会福祉協議会、老人クラブ、公民館、経済同友会、NPO、主婦、行政など)

## 【本日の流れ】

13:00~ 受付

13:30~ 開会 あいさつ

13:40~ 講演「安心して在宅医療を受けられる地域とは」

講師：是澤俊輔医師(これさわ内科医院院長・岡山市医師会会長)

14:10~ 移動(テーマ1:302教室、テーマ2:403教室、テーマ3:304教室、テーマ4:405教室)

14:15~ ワールドカフェによる意見交換(25分×3セッション)

15:30~ 各テーマで2グループに分かれまとめ作業

(話し合いのエッセンスを模造紙へ)

15:45~ 301講義室へ移動

15:50~ 全体発表

16:30 閉会



② テーマ毎に分かれてワールドカフェ(意見交換)

【意見交換のテーマ】

テーマ1 「高齢者が住みやすい地域をつくるには？」

(自分たちの地域をどのようにしていきたいか)

テーマ2 「地域の困難事例を支えられるネットワークを作るには？」

(地域のお世話役の方やサービス提供者の日ごろの悩み、上手く対応できた体験などを共有し、お互いの役割を知る。その上でどういうネットワークが組めるのか)

テーマ3 「健康寿命を延ばすためにできることは？」

(岡山県の平均寿命は長いが健康寿命は短いのはなぜ？高齢者が健康で長生きできる地域とは？)

テーマ4 「在宅医療・在宅介護でできること」

(家でどんな医療・介護サービスを受けたいか？家でどんな医療・介護サービスが受けられるのか？どんな制度になっているのか？)



③ ワールドカフェで出た話のエッセンスをまとめます

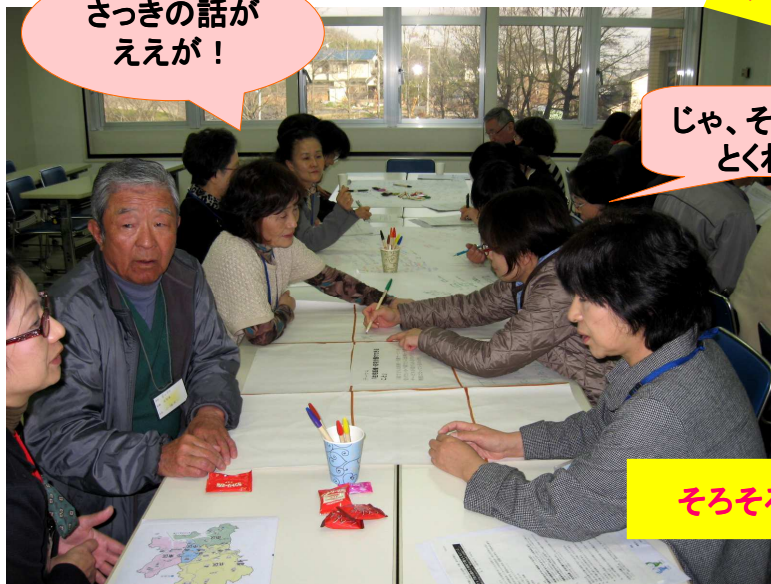


他のテーマの参加者に伝えたいことをまとめていきましょうね！



そうは言われても... どうするのかな...？

時間がなくなるよ...



さっきの話がええが！

じゃ、それ書いとくわ！

そろそろ終了時間です



もう座ってる場合じゃない！！  
(...という雰囲気)

④ 全体発表です



集中!



## 参加後のアンケート ⑩ー 市民

市民の感想

10. その他ご意見等がございましたら、ご記入ください。

### 【ワールドカフェについて】

○ワールドカフェによる意見交換会は初めてであり、今後の活動の参考となった。

○これからもやって欲しい。1つのテーマでやってほしい。他のテーマも勉強したい。

○この種の企画は初めてのことでないでしょうか。今後とも是非開催して欲しいと思います。行政としては休日に実施されたことを高く評価したいと思います

### 【在宅医療・介護の情報が必要】

○家族のこととして切実なテーマだったので、とても役に立ちました  
○在宅医療の先生とか情報が欲しい

○在宅・介護・医療サービスなどについてもっと知る場ができればよい

### 【意見交換できてよかった】

○貴重なご意見ありがとうございます

○楽しく他の団体の取組が聞けてよかった

○結局、小さなことから見直しをし、大きなつながりへ広がっていくのではないかと感じました

### 【改善点】

○専門職の中にヘルパーさんを！生の在宅介護の話を！という声を聞きました。なるほど、私もそう思います。

○話を進める中心的な役割の人がいたらいいと思う

○スクリーンを使う場合、字の大きさや画面の明るさなど、よく見えるような工夫が必要

○今日のまとめを1グループに1冊くらいは配布して欲しい

○スケジュールが時間的にきつい。

○時間厳守願います

# 参加後のアンケート ⑩ー 専門職

10. その他ご意見等がございましたら、ご記入ください。

専門職の感想

## 【市民と専門職の意見交換会は有効】

- 専門職と地域住民、町内会同士の連携は大変有効だと思いました。町内会の方々とのワールドカフェは今後も続けて欲しい。
- 愛育委員や民生委員さんの積極的な姿勢にびっくり。地域と専門職の交流はとても有意義だと思う。人は地域の支え合い、助け合いが重要です
- 地域の民生委員の方々は、皆さん活発にお元気に活動されている様子を聞き、私たちももう少し頑張らなければと勇気をもらいました

## 【楽しかった】

- 楽しかったです。学生の方(若い人)と話ができ嬉しかったです
- 初参加だったのですが、楽しかったし、普段はなかなか話せない職種・業種・年代の方とお話できて良かったです
- 非常に活発な意見交換ができました
- 自分が考えていることは正しかった。行動も。

## 【現状を知った】

- 現在元気な方々が情報を持たずに不安を抱いておられることが分かりました
- あまりにも知らないことが多く、勉強する機会があればいいと思う

## 【取り組み・情報の共有】

- 「地域で活動している実例発表」参考にしたいです
- 各町内会の画期的な取組(見守り隊、安心カプセルなど)を市内に公開して欲しい。

- 最期の発表について。まとめる時間が少なく、キーワード別に発表していくということが不十分だったと思う。が、模造紙に書いている以上の発表が続々と出て、皆さん素晴らしい！

## 【会のもち方について】

- 今回専門職の発言が民生委員の方々に圧倒されたので、そうではなく、それらを上手く複合できる会を作って欲しい
- 専門職として在宅介護にかかわっている介護士・ヘルパーさんの参加があるべきだと思いました